

2023年度 つむぎ田無ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
 今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

		質問内容	平均スコア (最大スコア5)	改善策・ご意見への対応について
業務改善について	Q2	入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するにあたり安全な環境であるか。	4.6	些細なことでも衛生面、安全面で気づいた点があれば積極的に改善提案をお願いいたします。
	Q3	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	4.8	開園して間もないため安定していますが、今後忙しくなるに辺りスタッフ間の協力が不可欠になるものと考えております。是非適宜業務改善のご提案をお願いいたします。
	Q4	保護者様にアンケート調査等を行い、保護者様の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.4	保護者様から頂いた意見は、可能なものはすぐに対応するようにしております。
	Q5	スタッフの資質、支援スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	4.5	毎月のスタッフ研修、および自主的な外部研修の参加を推奨しております。学んだ知識はアウトプットして自分の知識を高めながら、スタッフ全体のスキル向上を目指して参ります
	Q6	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		業務改善に関するご意見はいつでもご相談ください。
適切な支援の提供について	Q7	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	4.2	契約前には必ず保護者様との面談、およびアセスメントを実施しております。ご不明な点があればいつでもご相談ください。
	Q8	グループ活動や個別支援のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	4.2	マンスリーでは子ども主体性や社会性、規範意識などルールなども必要に応じて支援して参ります。個別やグループ支援では、個々の長所を伸ばすような支援を基本としながら、苦手なことにも挑戦しようとする気持ちを育てていきたいと考えております。
	Q9	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4.5	スタッフの見立てや個々のスキルに応じて、子どもに最善の支援を提供できるように日々創意工夫しております。子どもにとって常に自己肯定感や自信の向上につながる支援を心掛けてまいります。
	Q10	プログラム開始前にはスタッフ間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.8	スタッフ間での共有は密に行っていると感じています。
	Q11	支援終了後には、スタッフ間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.5	振り返りは毎回行い、必要なことは全体で共有するような仕組みになっています。
	Q12	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	4.5	記録は抜けないよう、また一人の子どもに対して複数の職員で記録をかけるように担当しております。支援の相談は複数人で行い、より質の高い支援を心がけてまいります。
	Q13	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていないか。	4.4	開園して間もないため、対象外の設問とはなりますが、必ず期間内にモニタリング、策定会議を行い、次期の目標を保護者様としっかり擦り合わせていきたいと考えております。
	Q14	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	4.0	手探りの部分もありますが、地域で子育てすることを目標に、まずは多くの方につむぎを知ってもらいきっかけを作っていきたいと思っております。
	Q15	適切な支援の提供について、ご提案をお聞かせください。		引き続き支援の質の向上に努めてまいります。
	保護者様との連携について	Q16	日頃から子どもの状況を保護者様と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.5
Q17		所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に務めているか。	3.5	園の先生や他の事業所様からの見学も適宜受け付けております。
Q18		児童発達支援事業所同士で連携をとり、利用児についての情報共有、相互理解に務めているか。	4.0	相談支援事業所も併設しておりますので、他事業所との連携もしっかりと取れているものと自負しております。
Q19		児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	3.4	現時点では対象外となりますが、就学のタイミング等で引き継ぎが必要になった際にはしっかりと情報共有を行う予定です。
Q20		児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3.8	西東京市発達支援センターのひいらぎ様とは、子どもの情報だけでなく、研修等の案内もいただき感謝しております。引き続き連携を強化してまいります。
Q21		地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	3.3	福祉センター内に様々な協議会や相談支援事業所等ありますので、連携してまいりたいと考えております。
Q22		障害の有無にかかわらず、子ども同士が関わる機会を設けているか。	3.3	法人内で他園との連携を強化してまいります。また戸外活動の際に近隣の子どもたちと一緒に公園で遊ぶこともあるため、混じりあいながら遊ぶ機会も提供していきたいと考えております。
Q23		事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	4.2	カフェはおかげ様で600名を超える方にご利用いただいております。これからも多くの方に気軽に立ち寄っていただけるように事業所を目指してまいります。
Q24		保護者様の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者様の状況に合わせた適切な支援を行っているか。	3.9	生活の場面に活かしていけるよう適宜アドバイスをさせていただいております。無理のない範囲で協力いただきながら、共に子育てに対して向き合っていきたいと思っております。
Q25		関係機関や保護者様との連携について、ご提案をお聞かせください。		関係機関の皆様、地域の皆様にも広くつむぎを知ってもらい、気軽に往来できるような関係を築いていきたいと考えております。

2023年度 つむぎ田無ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

保護者様やお子さまへの対応などについて	Q26	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.3	今後、契約についても全職員が自分の言葉で説明できるように強化していく予定です。
	Q27	保護者様からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4.2	必要な助言や支援を提供しておりますが、すぐにお答えできないような質問であっても、曖昧にせず、しっかり解決できるよう最後までお手伝いさせていただきます。
	Q28	保護者様同士が集まれる場の提供など、保護者様同士の連携につながる支援を行っているか。	3.6	カフェを含めてしっかりと連携できるような関係性づくりを大切にしています。今後勉強会や座談会も計画しております。
	Q29	子どもや保護者様からご意見・ご提案があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.0	今後、ご意見やご提案をいただいた際には迅速に対応させていただきます。
	Q30	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、子どもや保護者様に対して情報を発信できているか。	3.7	毎月のブログにて活動内容の発信をさせていただいております。マンスリーでの様子や季節行事など、外部向けに発信する機会を今後も増やしていきたいと考えております。
	Q31	障害のある子どもや保護者様との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例:分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	4.3	分かりやすい言葉で、具体的に生活でどのように配慮していけばいいのか、共有させていただいております。ご不明な点やご要望があればいつでもご相談ください。
	Q32	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	4.4	施設内研修やマニュアルでしっかりと共有しております。今後も厳重に管理してまいります。
	Q33	スタッフ同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	4.5	スタッフ同士での振り返り、必要に応じてケース会議を行うなど情報共有の時間を確保しております。
	Q34	保護者様や子どもへの対応などについて、ご提案をお聞かせください。		スタッフ間で意見交換しながら、引き続き子ども一人ひとりに合わせた質の高い支援を提供できるよう努めてまいります。
	非常時の対応について	Q35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	3.7
Q36		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	3.9	毎月の避難訓練を行い、また必要に応じて救命講習に参加するなど、緊急時の対応についてしっかりと訓練しております。
Q37		虐待を防止するため、スタッフの研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	4.2	9月に虐待防止委員会、10月に虐待防止研修を実施しました。スタッフが子どものどんな些細なことでも見逃さず、また、自分自身の関わりを内省できるように教育してまいります。
Q38		ヒヤリハット事例集を作成して、ルーム内で共有しているか。	4.4	ヒヤリハットは毎日の夕礼時に確認し、再発防止の対策を行います。多くのヒヤリハットを挙げ、未然に大きな事故を防いでまいります。
Q39		非常時の対応について、ご提案をお聞かせください。		法人としての災害訓練や園での避難訓練など、如何なる状況でも子どもたちの安全を優先して行動できるように努めてまいります。
満足度について	Q40	子どもは必要な支援を受けられていると感じていますか。	4.2	おかげ様で多くのお問い合わせをいただいております。子どもの特性に合わせた必要な支援を、必要な日数提供できていると考えております。
	Q41	つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感することがあるか。	4.4	つむぎを利用して頂いている子どもたちが、日々成長していく様子を見ながら、子どもたちの可能性や自分のたちの支援の方向性など再確認しております。
	Q42	設問事項に関わらず、ご提案などお聞かせください。		お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。頂いた意見を参考に、よりよい園運営に繋げてまいります。

アンケート実施期間:2023年8月15日~9月5日

全回答数 : 10

つむぎ田無ルーム
施設長 井坂 僚